

# 研究報告

1回目のフィールドワークを終え、山大生は研究のテーマを2つに絞りました。11月19日（木）に開催した3回目のフィールドワークでは更に焦点を絞り、各班ごとテーマに沿った調査研究に入りました。1月14日（木）には、中間報告会を開催し、「長井紬」のフィールドワークを通して見えてきた課題やその解決方法を発表していただきました。



コロナ対策で報告はZOOMで実施

## 〔研究テーマ①〕 小学生を対象としたコミセンでの「長井紬」活用事業の実施

〔11月19日（木）〕

### 〔調査の背景(着眼点・目的)〕

- ①長井市における若者の流出 ⇒ 地域の固有性を知らずに地区外へ転出する。(担い手不足)
- ②「長井紬」の「端切れ」⇒ 新たな活用方法の模索。

調査先	調査内容
長岡織物工房	企業概要(生産・販路)
長井市立図書館	長井紬に関する図書、教育本の実態

### 結論 地域の魅力を児童に伝える行為が必要

- #### 提案
- ①小学校での「長井紬」を活用した「小物づくり」(家庭科、学年事業などで、生産者からの説明(歴史・製法)と体験)
  - ②着物の展示・着付け体験(コミセン事業)(既存のイベントの中で着付け体験・着物や図案などの資料展示)
  - ③教育資料の再編(文章化、動画として編集)



定期的に見直しが必要な郷土の教材

### 致芳小学校児童(4～6年生) アンケート結果

